

調 査 の 概 要

- 1 この調査は昭和 32 年から住民基本台帳法(昭和 32 年から昭和 42 年までは住民登録法)、住民基本台帳等人口調査要綱及び同要領に基づき、区市町村長から世帯数、人口及び年齢構成を毎年1月1日現在で報告を受け集計しているものである。
- 2 調査項目は、住民基本台帳に記載されている区市町村ごとの世帯数、男女別人口、町丁(字)別及び年齢別人口である。
- 3 調査対象としての人口・世帯数とは、日本国籍を有し東京都内の区市町村に住所を定めている者として、当該区市町村の住民基本台帳に記載されている者の数及びそれらの者が構成している世帯の数である。
- 4 町丁(字)制を施行していない地域等については、通常用いている区画(自治会、町会名称等)によることとしたが、利島村、神津島村、御蔵島村及び青ヶ島村については、村を1つの区画とした。

利 用 上 の 注 意

- 1 統計表及び図表の数値は、特にことわり書きのない限り、各年1月1日現在の数値を示す。
- 2 統計表において「-」印は皆無又は該当数字のないことを、「」印は減を、「0.00」は表章単位未満を示す。
- 3 統計表において構成比を示す数値は、四捨五入してあるため、総数と内訳の合計が一致しない場合がある。
- 4 参考表において市部、町村部の区域は現在の区域に組み替えて表章している。
- 5 町丁名の掲載順は区市町村からの報告に基づいている。

この報告書についての照会は

総務局統計部人口統計課人口動態統計係

電話 5321-1111(代)

内線 25-511・512

5388-2531 (ダイヤルイン)

結果の概要

1 1月1日現在人口及び増減率

平成21年1月1日現在における東京都の住民基本台帳による人口は12,517,299人で、前年に比べ84,064人(0.68%)の増加となった。

調査開始(昭和32年)以来の推移をみると、昭和62年までおおむね増加傾向にあったが、翌年以降は減少を続け、平成9年に増加に転じた。以後、13年連続の増加となり、平成21年は過去最高となった。

人口を男女別にみると、男性6,216,067人、女性6,301,232人となり、前年に比べ男性は40,256人(0.65%)、女性は43,808人(0.70%)増加した。性比(女性100人に対する男性の数)は98.6で前年に比べ0.1ポイント減少し、平成8年以来、男性が女性より少ない傾向が続いている。

地域別にみると、区部は8,451,067人で、前年に比べ63,408人(0.76%)増加し、13年連続の増加となった。市部は3,978,689人で、20,996人(0.53%)増加し、調査開始以来、増加を続けている。一方、町村部は87,543人で340人(0.39%)の減少となった。

(表1、表2、図1、統計表第1表、参考表第3表)

図1 人口総数及び増減率の推移(昭和32～平成21年)

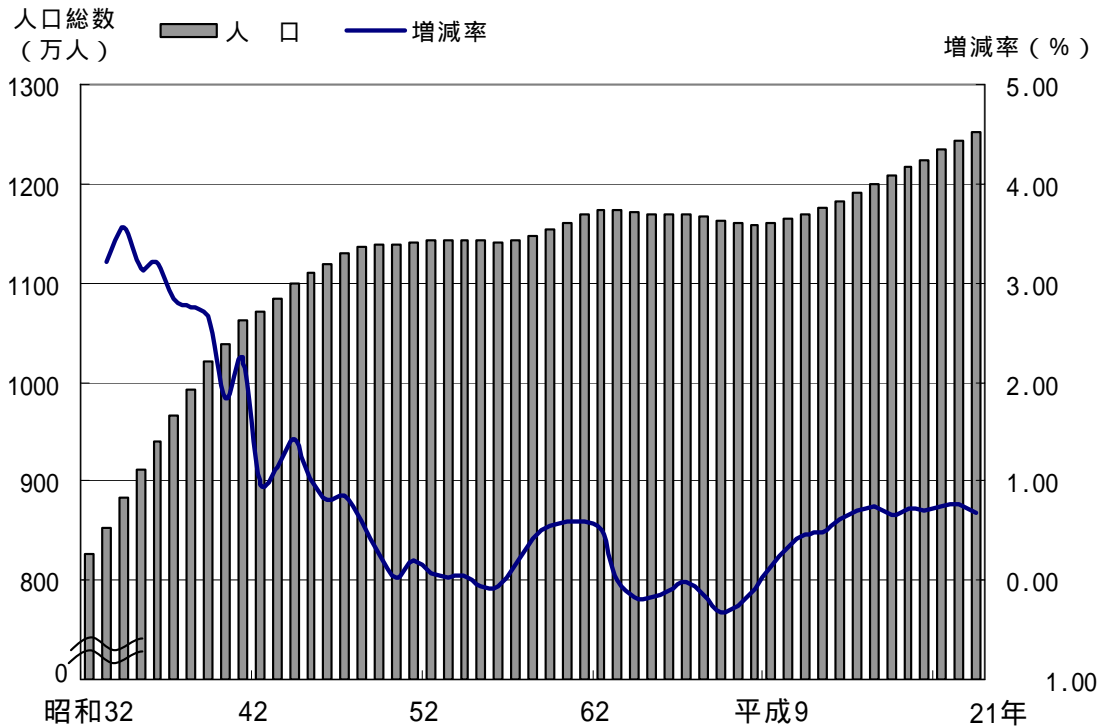


表1 人口及び男女別人口の推移（平成11～21年） 各年1月1日現在 （単位：人、％）

年次	総数			男			女			性比
	人口	増減数	増減率	人口	増減数	増減率	人口	増減数	増減率	
平成11年	11 694 934	53 626	0.46	5 832 504	24 019	0.41	5 862 430	29 607	0.51	99.5
12	11 750 351	55 417	0.47	5 857 130	24 626	0.42	5 893 221	30 791	0.53	99.4
13	11 823 029	72 678	0.62	5 892 229	35 099	0.60	5 930 800	37 579	0.64	99.3
14	11 907 350	84 321	0.71	5 932 231	40 002	0.68	5 975 119	44 319	0.75	99.3
15	11 996 211	88 861	0.75	5 973 910	41 679	0.70	6 022 301	47 182	0.79	99.2
16	12 074 598	78 387	0.65	6 008 358	34 448	0.58	6 066 240	43 939	0.73	99.0
17	12 161 029	86 431	0.72	6 047 173	38 815	0.65	6 113 856	47 616	0.78	98.9
18	12 247 024	85 995	0.71	6 087 228	40 055	0.66	6 159 796	45 940	0.75	98.8
19	12 339 259	92 235	0.75	6 130 991	43 763	0.72	6 208 268	48 472	0.79	98.8
20	12 433 235	93 976	0.76	6 175 811	44 820	0.73	6 257 424	49 156	0.79	98.7
21年	12 517 299	84 064	0.68	6 216 067	40 256	0.65	6 301 232	43 808	0.70	98.6

（注1）増減数（人）＝当該年の人口－前年の人口

（注2）増減率（％）＝（当該年の人口－前年の人口）÷前年の人口×100

表2 地域別人口の推移（平成11～21年） 各年1月1日現在 （単位：人、％）

年次	区 部			市 部			町 村 部		
	人口	増減数	増減率	人口	増減数	増減率	人口	増減数	増減率
平成11年	7 892 267	28 966	0.37	3 709 849	24 801	0.67	92 818	141	0.15
12	7 921 476	29 209	0.37	3 736 208	26 359	0.71	92 667	151	0.16
13	7 967 602	46 126	0.58	3 762 984	26 776	0.72	92 443	224	0.24
14	8 023 202	55 600	0.70	3 792 262	29 278	0.78	91 886	557	0.60
15	8 081 959	58 757	0.73	3 822 699	30 437	0.80	91 553	333	0.36
16	8 129 801	47 842	0.59	3 854 036	31 337	0.82	90 761	792	0.87
17	8 183 907	54 106	0.67	3 887 161	33 125	0.86	89 961	800	0.88
18	8 247 810	63 903	0.78	3 910 232	23 071	0.59	88 982	979	1.09
19	8 318 841	71 031	0.86	3 931 755	21 523	0.55	88 663	319	0.36
20	8 387 659	68 818	0.83	3 957 693	25 938	0.66	87 883	780	0.88
21年	8 451 067	63 408	0.76	3 978 689	20 996	0.53	87 543	340	0.39

2 平均年齢

平均年齢は、43.42歳と前年に比べ0.23歳高くなっている。男女を比較すると、男性42.06歳、女性44.75歳と女性の方が2.69歳高くなっている。

地域別にみると町村部の47.17歳が最も高く、次いで区部43.61歳、市部42.93歳の順となっており、いずれの地域でも上昇している。

また、20年前の昭和64年からの推移をみると、すべての地域で男女共に平均年齢が上昇しており、20年間で男性は6.50歳、女性は6.69歳上昇した。

区市町村別にみると、檜原村の55.78歳が最も高く、次いで奥多摩町55.00歳、三宅村54.12歳、新島村51.34歳の順となっている。最も低いのは小笠原村の39.40歳で、次いで御蔵島村40.72歳、稲城市40.76歳の順となっている。

(表3、表4)

表3 区市町村別平均年齢及び年齢(3区分)別人口の構成比

平成21年1月1日現在

地 域	平均年齢(歳)	年齢(3区分)別人口の構成比(%)			地 域	平均年齢(歳)	年齢(3区分)別人口の構成比(%)		
		0~14歳	15~64歳	65歳以上			0~14歳	15~64歳	65歳以上
総数	43.42	11.84	68.26	19.90					
区部	43.61	11.19	68.90	19.91					
千代田区	43.67	11.07	69.12	19.80	福生市	43.28	12.91	67.65	19.44
中央区	42.51	10.68	72.64	16.68	狛江市	43.86	11.30	67.57	21.13
港区	42.98	10.85	71.62	17.53	東大和市	43.14	14.26	65.03	20.71
新宿区	44.46	8.44	71.16	20.40	清瀬市	44.55	13.34	63.20	23.46
文京区	43.66	10.55	69.76	19.69	東久留米市	44.14	13.28	64.48	22.24
台東区	46.49	9.52	66.46	24.03	武蔵村山市	42.06	15.55	64.97	19.48
墨田区	44.70	10.81	67.57	21.62	多摩市	43.24	12.33	68.48	19.19
江東区	43.61	11.77	68.89	19.34	稲城市	40.76	15.77	68.09	16.14
品川区	43.98	10.03	70.27	19.69	羽村市	42.00	14.63	66.89	18.48
目黒区	43.33	10.07	71.22	18.71	あきる野市	43.98	14.40	63.42	22.19
大田区	43.85	11.36	68.52	20.12	西東京市	43.22	12.92	66.87	20.21
世田谷区	42.73	11.10	70.72	18.17	町村部	47.17	12.24	61.78	25.98
渋谷区	43.93	8.55	72.70	18.75	郡部	46.10	12.45	63.26	24.29
中野区	43.84	8.60	71.63	19.77	瑞穂町	42.92	14.41	66.39	19.20
杉並区	43.51	9.56	71.16	19.28	日の出町	47.49	11.35	62.70	25.95
豊島区	44.49	8.47	70.90	20.62	檜原村	55.78	7.31	51.13	41.55
北区	46.10	9.73	66.16	24.11	奥多摩町	55.00	7.21	53.60	39.19
荒川区	45.19	11.09	66.11	22.80	島部	49.39	11.79	58.72	29.49
板橋区	43.65	11.30	68.58	20.12	大島支庁	49.65	11.67	57.99	30.35
練馬区	42.57	12.86	67.93	19.20	大島町	49.66	11.38	57.88	30.74
足立区	43.96	12.80	65.46	21.74	利島村	47.36	11.11	64.65	24.24
葛飾区	44.30	12.40	65.81	21.79	新島村	51.34	11.22	55.82	32.97
江戸川区	41.38	14.75	67.59	17.66	神津島村	47.37	13.65	60.75	25.60
市部	42.93	13.22	67.04	19.74	三宅支庁	52.85	7.31	57.98	34.71
八王子市	42.85	13.31	66.98	19.71	三宅村	54.12	6.32	56.92	36.76
立川市	42.69	13.10	67.60	19.30	御蔵島村	40.72	16.78	68.12	15.10
武蔵野市	43.51	10.61	69.69	19.70	八丈支庁	50.53	12.04	56.68	31.28
三鷹市	42.52	12.22	69.20	18.58	八丈町	50.72	11.89	56.37	31.73
青梅市	43.82	13.57	65.82	20.61	青ヶ島村	41.61	18.78	71.27	9.94
府中市	41.75	13.96	68.10	17.93	小笠原支庁	39.40	17.38	71.24	11.38
昭島市	43.29	13.15	67.05	19.80	小笠原村	39.40	17.38	71.24	11.38
調布市	42.32	12.47	69.00	18.53					
町田市	43.14	13.94	65.64	20.42					
小金井市	42.62	12.06	69.36	18.58					
小平市	42.59	13.51	66.80	19.69					
日野市	42.92	13.42	66.31	20.27					
東村山市	43.85	13.36	64.93	21.71					
国分寺市	42.48	12.38	68.91	18.72					
国立市	42.82	12.66	68.63	18.70					

(注1)平均年齢の求め方は、各年齢の中央値(当年と翌年の中央値)ごとに人口を乗じた値を合計し、人口総数(年齢不詳を除く)で除す。

$$\text{平均年齢(歳)} = (\text{年齢} \times \text{人口}) \div \text{人口総数} + 0.5$$

(注2)年齢(3区分)別人口の構成比(%) = 各年齢区分別人口 ÷ 人口総数(年齢不詳を除く) × 100

表4 地域、男女別平均年齢の推移（昭和64、平成11、16～21年）

各年1月1日現在（単位：歳）

地域・男女		昭和 64年	平成 11年	16年	17年	18年	19年	20年	21年
総 数	総 数	36.80	40.83	42.22	42.48	42.74	42.97	43.19	43.42
	区 部	37.45	41.41	42.63	42.86	43.07	43.25	43.43	43.61
	市 部	35.25	39.55	41.28	41.61	41.96	42.30	42.61	42.93
	町村部	36.63	42.80	45.13	45.58	46.07	46.45	46.88	47.17
	郡部	35.50	41.50	43.95	44.42	44.91	45.29	45.75	46.10
	島部	41.03	45.31	47.50	47.91	48.43	48.83	49.20	49.39
男	総 数	35.56	39.50	40.87	41.13	41.39	41.62	41.84	42.06
	区 部	36.12	40.03	41.24	41.47	41.68	41.87	42.05	42.23
	市 部	34.23	38.36	40.03	40.36	40.70	41.02	41.32	41.64
	町村部	35.54	41.28	43.49	43.93	44.39	44.75	45.21	45.49
	郡部	34.53	40.04	42.35	42.81	43.27	43.64	44.12	44.46
	島部	39.53	43.66	45.80	46.20	46.68	47.02	47.43	47.62
女	総 数	38.06	42.15	43.56	43.82	44.07	44.31	44.52	44.75
	区 部	38.79	42.77	44.00	44.23	44.44	44.61	44.78	44.96
	市 部	36.30	40.76	42.55	42.86	43.22	43.57	43.89	44.22
	町村部	37.76	44.37	46.79	47.26	47.78	48.18	48.59	48.88
	郡部	36.52	42.99	45.57	46.07	46.58	46.96	47.41	47.76
	島部	42.54	46.99	49.22	49.65	50.24	50.69	51.04	51.23

3 年齢別人口

(1) 年齢別人口構成

平成21年1月1日現在の東京都の人口を、年齢構造を視覚的に表す人口ピラミッドで見ると、第1次ベビーブーム世代の59～61歳と、第2次ベビーブーム世代を含む35～38歳を中心とした二つの膨らみを持つ「ひょうたん型」に近い形となっている。

20年前の昭和64年と比べると、26歳以下の人口が男女ともに減少し、特に12歳から25歳までの減少が大きくなっている。逆に第1次ベビーブーム世代の老齢化に伴って、57歳以上の人口が大幅に増加しており、今後も少子高齢化の人口構造が一層進んでいくものと推測される。

(14頁 図6-1、15頁 図6-2)

(2) 5歳階級別人口

平成21年1月1日現在の東京都の人口を5歳階級別にみると、第2次ベビーブーム世代を含む35～39歳が1,137,324人(9.09%)で最も多く、次いで30～34歳の1,071,530人(8.56%)、40～44歳の984,232人(7.86%)、25～29歳の956,788人(7.64%)の順となっている。

(表5)

地域別構成

地域別の5歳階級別人口を、多い年齢階級順にみると、区部は35～39歳の787,546人、30～34歳の761,790人、25～29歳の683,147人、40～44歳の674,354人の順となっている。

市部は35～39歳の343,825人、40～44歳の304,766人、30～34歳の304,493人、55～59歳の272,469人の順となっている。

町村部は55～59歳の7,624人が最も多く、次いで60～64歳の7,360人、65～69歳の6,394人の順となっている。

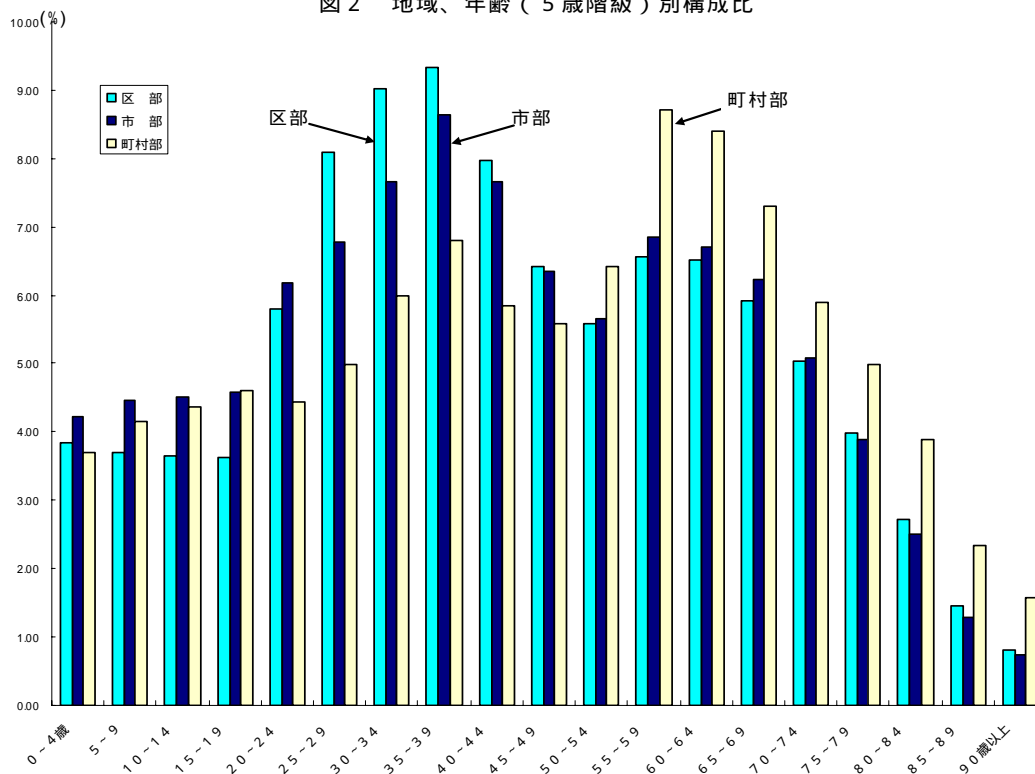
(表5・図2)

表5 地域、年齢（5歳階級）別人口 平成21年1月1日 （単位：人、％）

年齢 (歳)	総数	区部	市部	町村部	構成比			
					総数	区部	市部	町村部
総数	12 517 299	8 451 067	3 978 689	87 543	100.00	100.00	100.00	100.00
0～4歳	496 412	324 799	168 361	3 252	3.97	3.84	4.23	3.71
5～9	494 769	313 266	177 860	3 643	3.95	3.71	4.47	4.16
10～14	491 051	307 561	179 673	3 817	3.92	3.64	4.52	4.36
15～19	492 146	305 902	182 220	4 024	3.93	3.62	4.58	4.60
20～24	741 021	491 234	245 911	3 876	5.92	5.81	6.18	4.43
25～29	956 788	683 147	269 273	4 368	7.64	8.08	6.77	4.99
30～34	1 071 530	761 790	304 493	5 247	8.56	9.01	7.65	5.99
35～39	1 137 324	787 546	343 825	5 953	9.09	9.32	8.64	6.80
40～44	984 232	674 354	304 766	5 112	7.86	7.98	7.66	5.84
45～49	800 607	542 961	252 753	4 893	6.40	6.42	6.35	5.59
50～54	702 017	471 538	224 849	5 630	5.61	5.58	5.65	6.43
55～59	834 493	554 400	272 469	7 624	6.67	6.56	6.85	8.71
60～64	824 134	550 087	266 687	7 360	6.58	6.51	6.70	8.41
65～69	753 481	499 207	247 880	6 394	6.02	5.91	6.23	7.30
70～74	632 607	425 087	202 354	5 166	5.05	5.03	5.09	5.90
75～79	496 065	336 839	154 854	4 372	3.96	3.99	3.89	4.99
80～84	332 226	229 493	99 331	3 402	2.65	2.72	2.50	3.89
85～89	176 663	123 126	51 498	2 039	1.41	1.46	1.29	2.33
90歳以上	99 727	68 727	29 629	1 371	0.80	0.81	0.74	1.57
年齢不詳者	6	3	3	-	0.00	0.00	0.00	-

(注) 構成比(%) = 各年齢別人口 ÷ 人口総数 × 100

図2 地域、年齢（5歳階級）別構成比



性比

5歳階級別人口による性比をみると、40～44歳が109.9で最も高く、次いで45～49歳の108.7、30～34歳の108.0の順となっている。また、高齢になるにしたがって性比は低くなる傾向にあり、90歳以上では32.0と女性が男性の約3倍となっている。

20年前の昭和64年では性比が最も高いのは20～24歳で120.7、10年前の平成11年には30～34歳で114.0となっている。これをみると、この年齢階級(平成21年1月1日現在40～44歳)において特別に性比が高くなっていることがわかる。(表6)

表6 年齢(5歳階級)別、男女別人口及び性比の推移(昭和64、平成11、21年)

年 齢	各年1月1日現在 (単位:人)									性比(女=100人)		
	昭和64年			平成11年			21年			昭和64年	平成11年	21年
	総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女			
総数	11 718 720	5 897 900	5 820 820	11 694 934	5 832 504	5 862 430	12 517 299	6 216 067	6 301 232	101.3	99.5	98.6
0～4	561 957	287 857	274 100	478 153	245 233	232 920	496 412	254 599	241 813	105.0	105.3	105.3
5～9	591 849	302 430	289 419	456 946	233 694	223 252	494 769	253 746	241 023	104.5	104.7	105.3
10～14	704 395	360 785	343 610	505 543	258 671	246 872	491 051	251 179	239 872	105.0	104.8	104.7
15～19	930 247	482 599	447 648	608 457	311 839	296 618	492 146	251 236	240 910	107.8	105.1	104.3
20～24	1 153 060	630 637	522 423	964 448	503 705	460 743	741 021	380 584	360 437	120.7	109.3	105.6
25～29	954 477	519 699	434 778	1 130 840	592 734	538 106	956 788	497 475	459 313	119.5	110.2	108.3
30～34	810 351	432 272	378 079	979 848	522 028	457 820	1 071 530	556 249	515 281	114.3	114.0	108.0
35～39	938 848	492 056	446 792	794 170	419 037	375 133	1 137 324	585 293	552 031	110.1	111.7	106.0
40～44	938 770	476 198	462 572	705 373	365 592	339 781	984 232	515 337	468 895	102.9	107.6	109.9
45～49	898 326	442 535	455 791	866 702	444 746	421 956	800 607	416 995	383 612	97.1	105.4	108.7
50～54	807 526	394 693	412 833	885 080	445 059	440 021	702 017	360 556	341 461	95.6	101.1	105.6
55～59	700 456	339 239	361 217	835 091	409 074	426 017	834 493	424 697	409 796	93.9	96.0	103.6
60～64	555 877	259 946	295 931	726 686	348 558	378 128	824 134	407 704	416 430	87.8	92.2	97.9
65～69	402 690	167 470	235 220	611 719	284 882	326 837	753 481	356 243	397 238	71.2	87.2	89.7
70～74	310 941	131 536	179 405	466 425	205 845	260 580	632 607	287 285	345 322	73.3	79.0	83.2
75～79	236 601	96 715	139 886	311 507	117 546	193 961	496 065	211 849	284 216	69.1	60.6	74.5
80～84	137 785	52 844	84 941	202 276	73 448	128 828	332 226	127 336	204 890	62.2	57.0	62.1
85～89	63 935	22 264	41 671	114 966	37 256	77 710	176 663	53 518	123 145	53.4	47.9	43.5
90歳以上	20 600	6 108	14 492	50 688	13 549	37 139	99 727	24 182	75 545	42.1	36.5	32.0

(注) 総数には年齢不詳者を含む。

4 年齢(3区分)別人口

(1) 年齢(3区分)別人口の推移

人口を年齢3区分別に見ると、平成21年の年少人口(0～14歳)は1,482,232人で、前年に比べ10,604人(0.72%)増加した。人口に占める割合は11.84%で、10年前の平成11年の12.32%に比べ0.48ポイント低下している。

平成21年の生産年齢人口(15～64歳)は8,544,292人で、前年に比べ7,213人(0.08%)減少し、昨年の増加から減少に転じた。人口に占める割合は68.26%となり、平成5年から減少が続いている。また、平成11年の72.65%に比べ4.39ポイントの低下となった。

平成21年の老年人口(65歳以上)は2,490,769人で、前年に比べ80,674人(3.35%)増加した。また、人口に占める割合は19.90%で、10年前の平成11年の15.03%に比べ、4.87ポイント上昇している。年齢3区分のうち老年人口の増加は顕著である。

20年前の昭和64年の構成比と比べると、年少人口は4.02ポイント、生産年齢人口は5.88ポイントそれぞれ低下しており、老年人口は9.89ポイント上昇した。このことをみても、年齢3区分のうち老年人口の増加は顕著である。(表7-1、7-2、図3)

表7-1 年齢(3区分)別人口の推移(平成11～21年)

各年1月1日現在 (単位:人、%)

年次	年少人口(0～14歳)			生産年齢人口(15～64歳)			老年人口(65歳以上)		
	人口	増減数	増減率	人口	増減数	増減率	人口	増減数	増減率
平成11年	1 440 642	12 057	0.83	8 496 695	6 726	0.08	1 757 581	72 410	4.30
12	1 430 154	10 488	0.73	8 497 436	741	0.01	1 822 748	65 167	3.71
13	1 427 229	2 925	0.20	8 491 001	6 435	0.08	1 904 789	82 041	4.50
14	1 427 848	619	0.04	8 500 167	9 166	0.11	1 979 325	74 536	3.91
15	1 432 509	4 661	0.33	8 507 104	6 937	0.08	2 056 589	77 264	3.90
16	1 435 292	2 783	0.19	8 523 570	16 466	0.19	2 115 728	59 139	2.88
17	1 445 820	10 528	0.73	8 539 039	15 469	0.18	2 176 162	60 434	2.86
18	1 451 916	6 096	0.42	8 545 819	6 780	0.08	2 249 279	73 117	3.36
19	1 461 387	9 471	0.65	8 545 560	259	0.00	2 332 305	83 026	3.69
20	1 471 628	10 241	0.70	8 551 505	5 945	0.07	2 410 095	77 790	3.34
21年	1 482 232	10 604	0.72	8 544 292	7 213	0.08	2 490 769	80 674	3.35
年次	(再掲) 老年人口のうち70歳以上			(再掲) 老年人口のうち75歳以上			(再掲) 老年人口のうち80歳以上		
	人口	増減数	増減率	人口	増減数	増減率	人口	増減数	増減率
平成11年	1 145 862	51 398	4.70	679 437	28 278	4.34	367 930	12 578	3.54
12	1 193 987	48 125	4.20	709 247	29 810	4.39	381 416	13 486	3.67
13	1 247 391	53 404	4.47	748 924	39 677	5.59	400 891	19 475	5.11
14	1 304 631	57 240	4.59	788 134	39 210	5.24	421 434	20 543	5.12
15	1 369 146	64 515	4.95	829 013	40 879	5.19	442 404	20 970	4.98
16	1 432 319	63 173	4.61	871 842	42 829	5.17	464 082	21 678	4.90
17	1 491 554	59 235	4.14	914 392	42 550	4.88	489 078	24 996	5.39
18	1 561 921	70 367	4.72	957 123	42 731	4.67	518 752	29 674	6.07
19	1 625 039	63 118	4.04	1 002 807	45 684	4.77	547 551	28 799	5.55
20	1 689 269	64 230	3.95	1 053 950	51 143	5.10	576 901	29 350	5.36
21年	1 737 288	48 019	2.84	1 104 681	50 731	4.81	608 616	31 715	5.50

(注1)増減数(人) = 当該年の区分別人口 - 前年の区分別人口

(注2)増減率(%) = (当該年の区分別人口 - 前年の区分別人口) ÷ 前年の区分別人口 × 100

表 7 - 2 年齢（3区分）別人口及び構成比の推移（平成11～21年） 各年1月1日現在（単位：人、％）

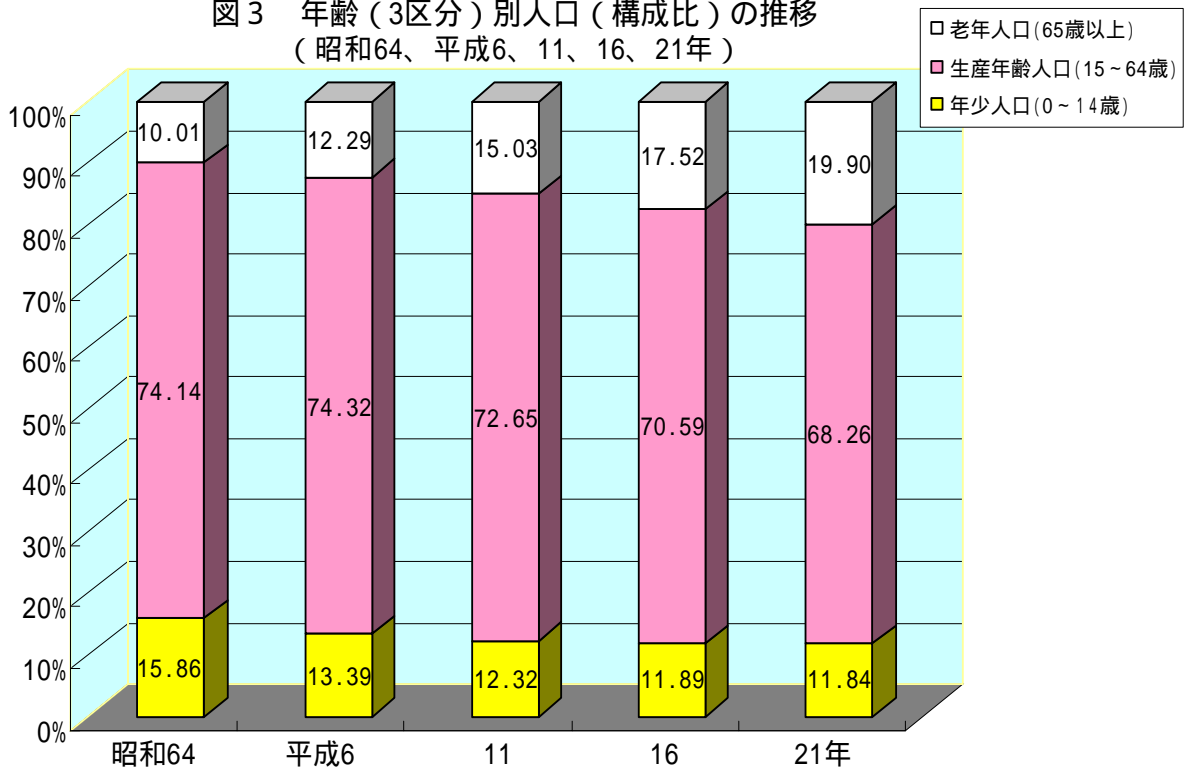
年次	年少人口 (0～14歳)		生産年齢人口 (15～64歳)		老年人口 (65歳以上)		(再掲) 老年人口のうち70歳以上		(再掲) 老年人口のうち75歳以上		(再掲) 老年人口のうち80歳以上	
	人口	構成比	人口	構成比	人口	構成比	人口	構成比	人口	構成比	人口	構成比
平成11年	1 440 642	12.32	8 496 695	72.65	1 757 581	15.03	1 145 862	9.80	679 437	5.81	367 930	3.15
12	1 430 154	12.17	8 497 436	72.32	1 822 748	15.51	1 193 987	10.16	709 247	6.04	381 416	3.25
13	1 427 229	12.07	8 491 001	71.82	1 904 789	16.11	1 247 391	10.55	748 924	6.33	400 891	3.39
14	1 427 848	11.99	8 500 167	71.39	1 979 325	16.62	1 304 631	10.96	788 134	6.62	421 434	3.54
15	1 432 509	11.94	8 507 104	70.91	2 056 589	17.14	1 369 146	11.41	829 013	6.91	442 404	3.69
16	1 435 292	11.89	8 523 570	70.59	2 115 728	17.52	1 432 319	11.86	871 842	7.22	464 082	3.84
17	1 445 820	11.89	8 539 039	70.22	2 176 162	17.89	1 491 554	12.27	914 392	7.52	489 078	4.02
18	1 451 916	11.86	8 545 819	69.78	2 249 279	18.37	1 561 921	12.75	957 123	7.82	518 752	4.24
19	1 461 387	11.84	8 545 560	69.26	2 332 305	18.90	1 625 039	13.17	1 002 807	8.13	547 551	4.44
20	1 471 628	11.84	8 551 505	68.78	2 410 095	19.38	1 689 269	13.59	1 053 950	8.48	576 901	4.64
21年	1 482 232	11.84	8 544 292	68.26	2 490 769	19.90	1 737 288	13.88	1 104 681	8.83	608 616	4.86

(注) 構成比(%) = 各区分別人口 ÷ 人口総数 × 100

なお、平成21年の老年人口のうち70歳以上は、1,737,288人で、前年に比べ48,019人(2.84%)の増加となり、人口に占める割合は13.88%となった。また、75歳以上は1,104,681人で、前年に比べ50,731人(4.81%)の増加、人口に占める割合は8.83%で、80歳以上の人口は608,616人で、前年に比べ31,715人(5.50%)の増加、人口に占める割合は4.86%となっており、80歳以上人口の増加が大きいことがわかる。

(表7-1、表7-2、参考表第7表、図3)

図3 年齢（3区分）別人口（構成比）の推移
(昭和64、平成6、11、16、21年)



(2) 地域別比較

平成 21 年 1 月 1 日現在の年齢(3 区分)別人口の構成比を地域別にみると、年少人口の割合は、市部の 13.22%が最も高く、次いで町村部の 12.24%、区部の 11.19%となっている。

生産年齢人口の割合は、区部の 68.90%が最も高く、次いで市部の 67.04%、町村部の 61.78%の順となっている。

老年人口の割合は、町村部の 25.98%が最も高く、次いで区部の 19.91%、市部の 19.74%となっている。特に、島部の町村(29.49%)で高くなっている。(表 8)

表 8 地域別、年齢(3 区分)別人口 平成21年1月1日現在 (単位：人、%)

地 域	総 数		年 少 人 口 (0～14歳)		生 産 年 齢 人 口 (15～64歳)		老 年 人 口 (65歳以上)	
	人 口	構 成 比	人 口	構 成 比	人 口	構 成 比	人 口	構 成 比
総 数	12 517 299	100.00	1 482 232	11.84	8 544 292	68.26	2 490 769	19.90
区 部	8 451 067	100.00	945 626	11.19	5 822 959	68.90	1 682 479	19.91
市 部	3 978 689	100.00	525 894	13.22	2 667 246	67.04	785 546	19.74
町 村 部	87 543	100.00	10 712	12.24	54 087	61.78	22 744	25.98
郡 部	59 035	100.00	7 352	12.45	37 346	63.26	14 337	24.29
島 部	28 508	100.00	3 360	11.79	16 741	58.72	8 407	29.49

(注) 総数には年齢不詳者を含む。

(3) 区市町村別比較

平成 21 年 1 月 1 日現在の年齢(3 区分)別人口の構成比を区市町村別にみると、年少人口の割合は、青ヶ島村の 18.78%が最も高く、都全体の 11.84%に比べ 6.94 ポイント高くなっている。次いで小笠原村の 17.38%、御蔵島村の 16.78%となっている。

最も低いのは三宅村の 6.32%で、次いで奥多摩町の 7.21%、檜原村の 7.31%となっている。

生産年齢人口の割合は、渋谷区の 72.70%が最も高く、都全体の 68.26%に比べ 4.44 ポイント高くなっている。次いで中央区の 72.64%、中野区の 71.63%となっている。

最も低いのは檜原村の 51.13%で、次いで奥多摩町の 53.60%、新島村の 55.82%の順となっている。

老年人口の割合は、檜原村の 41.55%が最も高く、都全体の 19.90%に比べ 21.65 ポイント高くなっている。次いで奥多摩町の 39.19%、三宅村の 36.76%となっている。

最も低いのは青ヶ島村の 9.94%で、次いで小笠原村の 11.38%、御蔵島村の 15.10%となっている。(4 頁 表 3)

(4) 全国との比較

平成 21 年 1 月 1 日現在の東京都と、平成 20 年 3 月 31 日現在の全国の人口を比較してみると、東京都は 12,517,299 人、全国は 127,066,178 万人となっている。

東京都が全国に占める割合は 9.85 %となっている。年齢(3 区分)別構成比をみると、東京

都の年少人口は 11.84% で全国より 1.78 ポイント低く、生産年齢人口は 68.26% で、全国より 3.45 ポイント高く、老年人口は 19.90% で全国より 1.67 ポイント低くなっている。

(表 9、図 4-1、図 4-2)

表 9 年齢(3区分)別人口

(単位:人、%)

区分	都 *1		全国 *2	
	人口	構成比	人口	構成比
総数	12 517 299	100.00	127 066 178	100.00
年少人口	1 482 232	11.84	17 302 784	13.62
生産年齢人口	8 544 292	68.26	82 351 921	64.81
老年人口	2 490 769	19.90	27 411 466	21.57

*1:本調査(平成 21 年 1 月 1 日現在)。総数には年齢不詳を含む。

*2:総務省自治行政局「住民基本台帳人口要覧」(平成 20 年 3 月 31 日現在)全国人口の年齢別数値は国勢調査の結果数値(毎 5 年周期の 10 月 1 日)または各年 3 月 31 日の数値しか公表されていないため、直近の数値として、総務省自治行政局「住民基本台帳人口要覧」(平成 20 年 3 月 31 日現在)の数値を使用した。総数には年齢不詳を含む。

図 4-1 都の構成比

(平成 21 年 1 月 1 日現在)

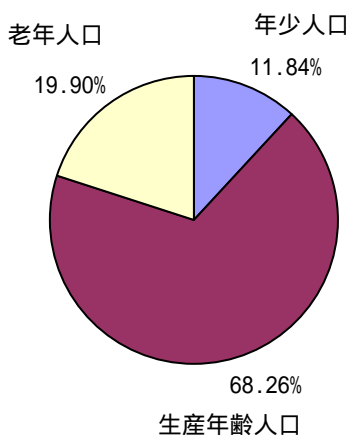
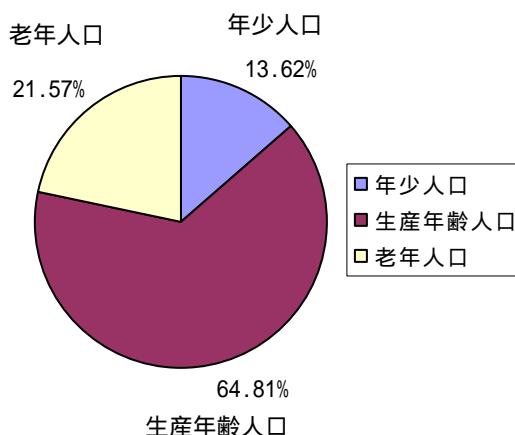


図 4-2 全国の構成比

(平成 20 年 3 月 31 日現在)



5 年齢構造指数

平成 21 年の年少人口指数(年少人口の生産年齢人口に対する比率)は 17.3 で、前年とほぼ同じ値となった。一方、老年人口指数(老年人口の生産年齢人口に対する比率)は、平成 21 年は 29.2 となり前年に比べ 1.0 ポイント上昇した。昭和 32 年からの年齢構造指数の推移を見ると、平成 7 年まで老年人口指数が年少人口指数を下回っていたが、平成 8 年に逆転し、以後、老年人口指数の上昇が続いている。

従属人口指数は、前年より 1.1 ポイント上昇し 46.5 となった。また、老年化指数(老年人口の年少人口に対する比率)は、平成 8 年に 100 を超え、平成 21 年は 168.0 となった。昭和 64 年(20 年前)の老年化指数 63.1 と比べ、2.7 倍になった。(表 10、図 5、参考表第 7 表)

(注)年齢構造指数とは、次の指数の総称である。(人口学用語)

$$\text{年少人口指数} = (\text{年少人口}) \div (\text{生産年齢人口}) \times 100$$

$$\text{老年人口指数} = (\text{老年人口}) \div (\text{生産年齢人口}) \times 100$$

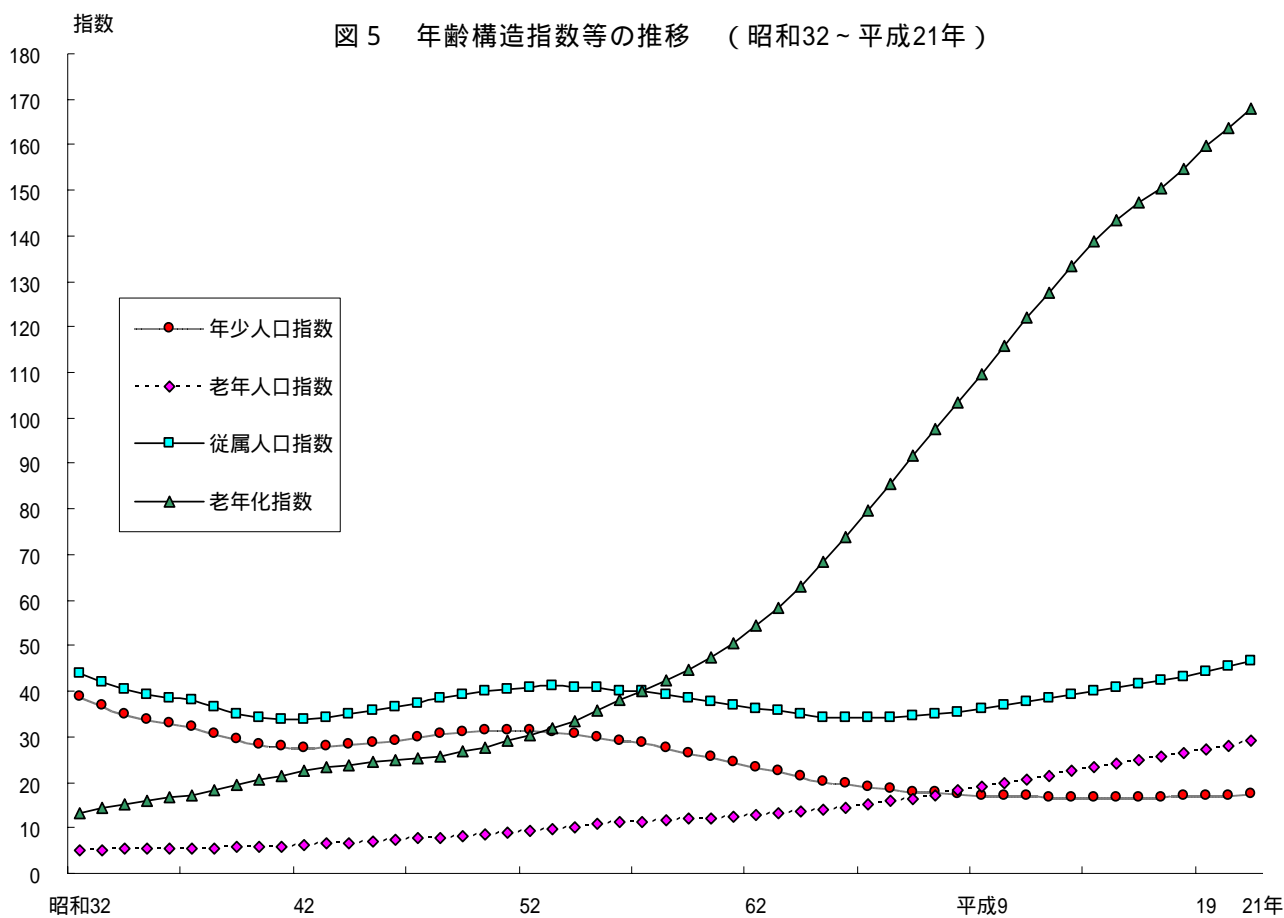
$$\text{従属人口指数} = \{(\text{年少人口}) + (\text{老年人口})\} \div (\text{生産年齢人口}) \times 100$$

従属人口指数は、年少人口 + 老年人口の生産年齢人口に対する比率

$$\text{老年化指数} = (\text{老年人口}) \div (\text{年少人口}) \times 100$$

表10 年齢構造指数の推移（昭和64、平成6、11、16～21年） 各年1月1日現在

年齢構造指数	昭和64	平成6	11	16	17	18	19	20	21年
年少人口指数	21.4	18.0	17.0	16.8	16.9	17.0	17.1	17.2	17.3
老年人口指数	13.5	16.5	20.7	24.8	25.5	26.3	27.3	28.2	29.2
従属人口指数	34.9	34.6	37.6	41.7	42.4	43.3	44.4	45.4	46.5
老年化指数	63.1	91.7	122.0	147.4	150.5	154.9	159.6	163.8	168.0



6 世帯数

平成 21 年 1 月 1 日現在における東京都の住民基本台帳による世帯総数は 6,210,852 世帯で、前年に比べ 85,028 世帯（1.39%）増加した。

調査開始時である昭和 32 年の 2,021,303 世帯から一貫して増加し、平成 21 年には 3 倍を超える世帯数となった。1 世帯当たりの人員は 2.02 人となり、調査開始以来減少を続け、昭和 32 年の 4.09 人に比べほぼ半分の人員となっている。

地域別に前年と比べてみると、区部は 4,376,801 世帯で 63,150 世帯（1.46%）の増、市部は 1,794,653 世帯で 21,578 世帯（1.22%）の増、町村部は 39,398 世帯で 300 世帯（0.77%）の増とすべての地域で増加している。1 世帯当たりの人員は、市部、町村部が 2.22 人で、次いで、区部 1.93 人の順となっている。

区市町村別にみると、世田谷区が 432,753 世帯で最も多く、次いで、大田区 341,519 世帯、練馬区 329,290 世帯の順となっている。最も少ないのは青ヶ島村の 112 世帯で、次いで、御蔵島村、利島村の 164 世帯の順となっている。

1 世帯当たりの人員は、あきる野市が 2.54 人で最も多く、次いで瑞穂町 2.50 人、日の出町 2.46 人となっている。最も少ないのは三宅村、青ヶ島村の 1.62 人で、次いで渋谷区、新宿区の 1.67 人となっている。

（表 11、表 12、統計表第 1 表、第 4 表、参考表第 8 表）

表11 地域別世帯数の推移（平成11～21年） 各年1月1日現在 （単位：世帯、%）

年次	総数			区部			市部			町村部		
	世帯数	増減数	増減率	世帯数	増減数	増減率	世帯数	増減数	増減率	世帯数	増減数	増減率
平成11	5 324 604	85 059	1.62	3 745 344	55 165	1.49	1 542 626	29 384	1.94	36 634	510	1.41
12	5 401 662	77 058	1.45	3 797 774	52 430	1.40	1 566 810	24 184	1.57	37 078	444	1.21
13	5 489 639	87 977	1.63	3 859 532	61 758	1.63	1 592 610	25 800	1.65	37 497	419	1.13
14	5 585 847	96 208	1.75	3 927 099	67 567	1.75	1 620 901	28 291	1.78	37 847	350	0.93
15	5 679 978	94 131	1.69	3 993 731	66 632	1.70	1 648 139	27 238	1.68	38 108	261	0.69
16	5 760 580	80 602	1.42	4 047 216	53 485	1.34	1 675 128	26 989	1.64	38 236	128	0.34
17	5 842 829	82 249	1.43	4 103 468	56 252	1.39	1 701 054	25 926	1.55	38 307	71	0.19
18	5 932 890	90 061	1.54	4 169 614	66 146	1.61	1 724 741	23 687	1.39	38 535	228	0.60
19	6 029 100	96 210	1.62	4 242 089	72 475	1.74	1 748 077	23 336	1.35	38 934	399	1.04
20	6 125 824	96 724	1.60	4 313 651	71 562	1.69	1 773 075	24 998	1.43	39 098	164	0.42
21年	6 210 852	85 028	1.39	4 376 801	63 150	1.46	1 794 653	21 578	1.22	39 398	300	0.77

（注1）増減数（世帯）＝当該年の世帯数－前年の世帯数

（注2）増減率（%）＝（当該年の世帯数－前年の世帯数）÷前年の世帯数×100

表12 地域別1世帯当り人員の推移（昭和64、平成6、11、16～21年）各年1月1日現在 （単位：人）

地域	昭和64	平成6	11	16	17	18	19	20	21年
総数	2.44	2.31	2.20	2.10	2.08	2.06	2.05	2.03	2.02
区部	2.34	2.22	2.11	2.01	1.99	1.98	1.96	1.94	1.93
市部	2.70	2.53	2.40	2.30	2.29	2.27	2.25	2.23	2.22
町村部	2.95	2.74	2.53	2.37	2.35	2.31	2.28	2.25	2.22

図 6-1 東京都の人口の年齢構造(平成 21 年)

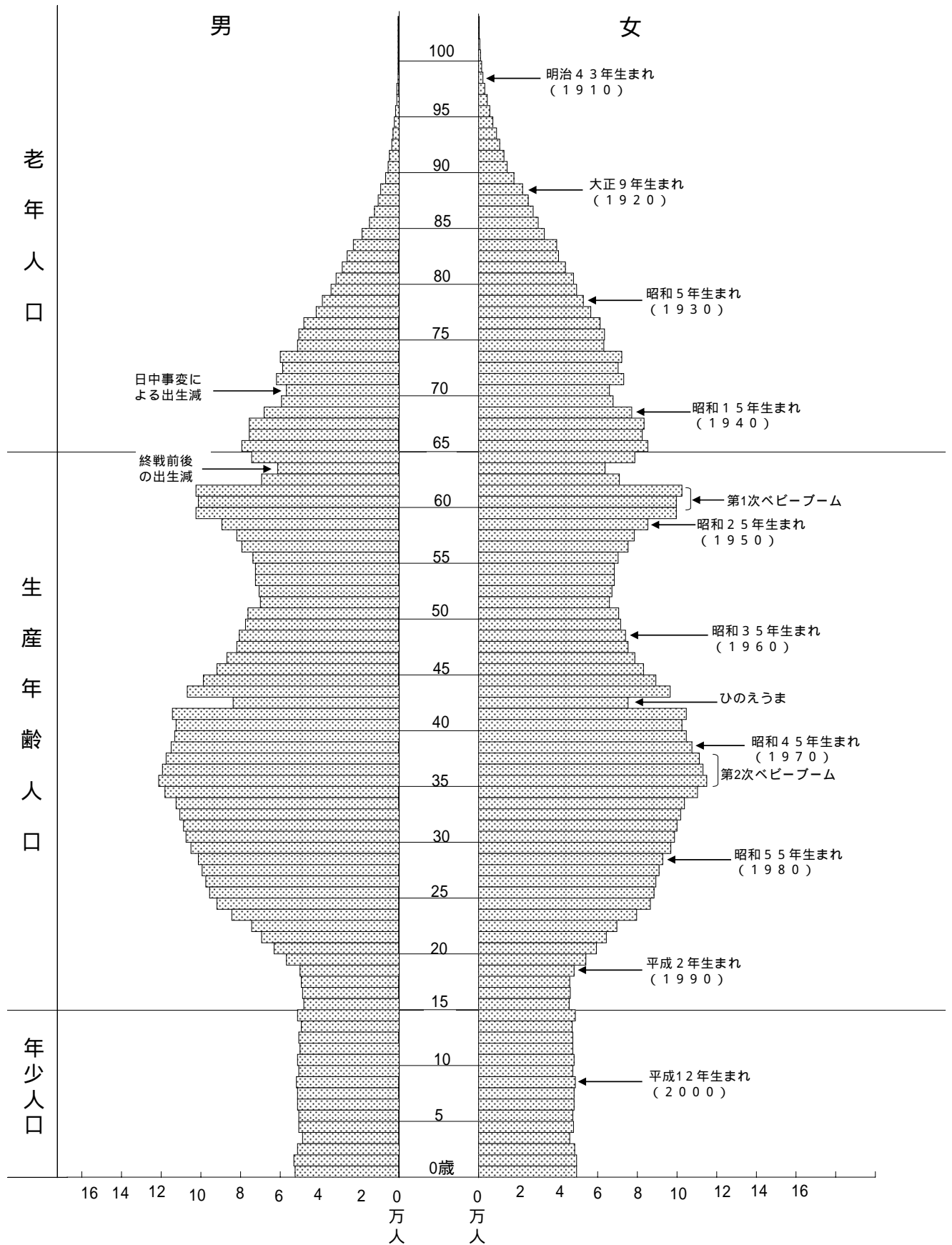


図 6-2 東京都の人口の年齢構造(昭和64年・平成21年)

